

平成26年行政事業レビューシート

(復興庁)

事業名	東日本大震災復興関連事業円滑化支援事業		担当部局庁	復興庁		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度～終了(予定)なし		担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)		参事官 大野 秀敏		
会計区分	東日本大震災復興特別会計		政策・施策名	政策:復興施策の推進 施策:東日本大震災からの復興に係る施策の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	住宅市場整備推進等事業費補助金交付要綱				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	被災者が生活再建に向け恒久的な建築物を自力で整備する際に第三者が法令への適合性をチェックする建築確認検査手続きの円滑化を図ることにより、被災者の生活基盤及びコミュニティの自律的再生、建設投資等の円滑化による地域経済の活性化、復興案件の増加に伴う手続きの長期化による復興の阻害回避を推進すること。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	被災案件に係る建築確認検査を実施する指定確認検査機関が行う以下の事業等に要する費用を補助する。 ・復興事業の建築計画に係る審査の円滑化に向けた事前相談・本審査に係る体制整備を図るための窓口等の体制の充実・強化 ・復興事業に係る建築主・設計者等に対する基準・手続き等建築規制制度の周知等 (補助率:定額補助)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度要求		
		当初予算	-	1,000	400	250	265	
		補正予算	200	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
	計	200	1,000	400	250	265		
	執行額	26	156	125				
執行率(%)	13.0%	15.6%	31.3%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	23年度	24年度	25年度	目標値 (年度)
	東日本大震災からの復旧・復興を推進(建築確認検査手続きの円滑化は、被災地の復旧・復興に寄与するものの一部であり、被災地全体の復旧・復興がどの程度推進されたかを定量的な成果目標に設定するのは困難であるため。)		成果実績	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-
			達成度	-	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	23年度	24年度	25年度	26年度活動見込
	指定確認検査機関において手数料減免を実施した件数		活動実績	件	2,467	14,674	11,670	-
			当初見込み	件	20,000	100,000	17,700	22,900
単位当たりコスト	算出根拠			単位	23年度	24年度	25年度	26年度見込
	X(各年度実績額)÷Y(各年度実績件数)		単位当たりコスト	千円/件	11千円/件	11千円/件	11千円/件	11千円/件
			計算式	X/Y	25,930/2,467	155,810/14,674	124,584/11,670	25,000/22,900
平成26・27年度予算内訳(単位:百万円)	費目	26年度当初予算	27年度要求	主な増減理由				
	住宅市場整備推進等事業費補助金	250	265	平成27年度においては、平成26年度に比べ申請件数が増加することを想定しているため。				
計	250	265						

事業所管部局による点検・改善					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	被災者の生活基盤及びコミュニティの自律的再生、建設投資等の円滑化による地域経済の活性化、復興案件の増加に伴う手続きの長期化による復興の阻害回避を推進することを目的として、指定確認検査機関への支援を行い建築確認検査手続きの円滑化を図っており、国が率先して優先的に行うべき事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	国と事業主体との負担関係は要綱等に定められており、妥当なものとなっている。 <不用率が大きい理由> 面整備事業による民間住宅等用地の供給時期の遅れなど、被災地の復興等の遅れに伴い、被災案件に係る確認申請件数が当初の想定を下回っているため。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	東日本大震災の被災者が恒久的な建築物を自力で整備する際の建築確認検査手続きの円滑化を図ることは、被災地の復旧・復興を行う上で有効な手段である。また、各事業主体と随時進捗状況の確認等を行い、効率的な執行に努めた。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		△		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検・改善結果	点検結果	昨年度の行政事業レビューの指摘にもあるとおり、執行率が低位に留まっているため、復興の遅れ等の実態に合わせた見直しが必要。			
	改善の方向性	過去の事業実績や被災地の今後の復興の見通し等を踏まえ、平成26年度予算要求において全体事業計画の見直しを行った。平成27年度予算要求においても、見直した全体事業計画を可能な範囲で確認・検証した上で、復興の実態に応じた要求を行う。			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	事業の目的である被災者の生活基盤及びコミュニティの自律的再生、建設投資等の円滑化による地域経済の活性化、復興案件の増加に伴う手続きの長期化による復興の阻害回避に向け、引き続き効率性に留意しつつ予算の執行を進めること。 平成25年度の執行率が低いことを踏まえ、予算要求に当たっては事業規模の精査を行うこと。 震災発生直後と比較した状況の変化を踏まえ、事業の終期について検討を行うこと。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	引き続き効率的・効果的な予算の執行に努めていく。				
備考					
・「予算額・執行額」の平成23年度部分については、国土交通省が計上した同様の事業(No.493)の予算額等を参考記載しているもの。					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成23年	-	平成24年	115	平成25年	167

※平成25年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

復興庁
400百万円

(国土交通省へ移替え)



国土交通省
400百万円

【公募・補助】



A. 民間事業者(1団体)
125百万円

被災案件に係る建築確認検査手続きの円滑化を図るため、被災案件に係る建築確認検査を実施する指定確認検査機関における体制整備等に要する費用を補助

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)(単位:百万
円)

A.(一社)すまいづくりまちづくりセンター連合会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	確認検査手数料の補助額	121			
その他		4			
計		125	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	一般社団法人すまいづくりまちづくりセンター連合会	被災案件に係る建築確認検査手続きの円滑化を図るため、被災案件に係る建築確認検査を実施する指定確認検査機関における体制整備等に要する費用を補助	125	-	-